

I 検証に当たって

1 検証の総括

令和2年7月豪雨は、7日から8日にかけて中濃から飛騨地方を中心に断続的に非常に激しい雨となり、6市に大雨特別警報が発表されたほか、降り始めからの降水量が県内11地点で1,000ミリを超えるなど、記録的な大雨となった。

これにより、飛騨川を中心とする河川の氾濫や土砂災害、下流域の白川町ではバックウォーター現象による浸水被害が発生し、また八百津町では短時間の突風による損壊家屋が発生するなど、特定の地域でピンポイントに局所的な被害が発生した。

このような中、死者・行方不明者がなかったことは、本県が実施してきた治水、治山事業の成果と見られ、加えて、地元自治体、地域住民などが連携して避難誘導を実施した結果と考えられる。

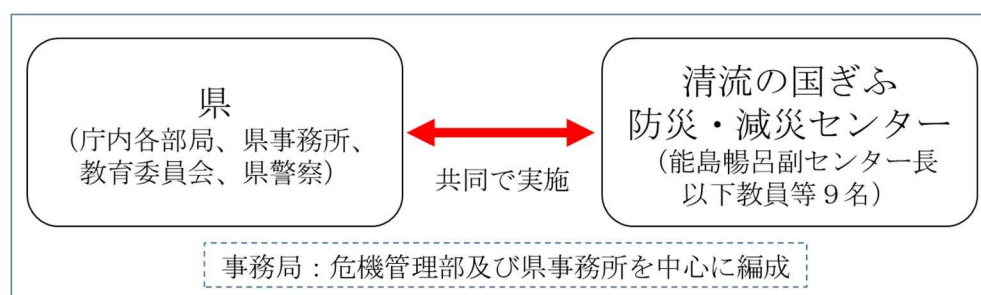
今回はコロナ禍における災害対応が求められた初めての大規模災害であり、コロナ対応の避難所運営を行うことができたが、避難所定員の減少や災害ボランティアの受入などが課題となっている。

以上のように、本災害においてはこれまでの防災対策が効果を発揮したものと考えられる一方、コロナ禍の防災対策に万全を期すためにも、引き続き県民、市町村、防災関係機関と一体となって災害対応力の向上に努める必要がある。

2 検証の体制、テーマ及び方法

1 検証の体制

部局横断のタスクフォースを設置し、専門的知見を有する「清流の国ぎふ防災・減災センター」(※)と共同で検証を行った。



※清流の国ぎふ防災・減災センター

地域防災力の強化を図るため、実際に災害対応を行う岐阜県と、高度教育機能・研究機能を持つ岐阜大学が共同して、平成27年4月に岐阜大学構内に設置した防災・減災にかかる実践的シンクタンク機関

<清流の国ぎふ防災・減災センター参加教員等>

能島 暢呂 (のじま のぶおと)	岐阜大学工学部教授
高木 朗義 (たかぎ あきよし)	岐阜大学工学部教授
神谷 浩二 (かみや こうじ)	岐阜大学工学部教授
沢田 和秀 (さわだ かずひで)	岐阜大学工学部教授
吉野 純 (よしの じゅん)	岐阜大学工学部准教授
原田 守啓 (はらだ もりひろ)	岐阜大学流域圏科学研究センター准教授
小山 真紀 (こやま まき)	岐阜大学流域圏科学研究センター准教授
村岡 治道 (むらおか はるみち)	岐阜大学地域減災研究センター特任准教授
栗田 暢之 (くりた のぶゆき)	コーディネーター

2 検証のテーマ

今後の災害対応力の向上及び防災対策の強化に資するため、「コロナ禍における避難所運営、災害ボランティア等の受入」などをテーマとして設定した。その上で、テーマごとに本県が経験した事象を中心に他県において課題とされた事象も含めて検証項目を設定した。

なお、検証テーマごとに担当する教員等を定め、専門的な見地からの検証を進めた。

新は平成30年7月豪雨災害検証との比較

新 **テーマ1** コロナ禍における避難所運営、災害ボランティア等の受入
→小山准教授、栗田コーディネーター

(1) 避難所における感染防止対策 【危機管理部、健康福祉部、商工労働部】

※感染防止対策徹底に伴う収容人数減少

(2) 災害ボランティア等の受入等

【危機管理部、総務部、清流の国推進部、健康福祉部】

① 災害ボランティアの受入体制

※市町村域に限定したボランティアの受入

② 応援職員・リエゾンの派遣、受入対応

※他県から熊本県への応援職員の感染

テーマ2 実効性のある避難・情報提供のあり方

→高木教授、吉野准教授、小山准教授、村岡特任准教授

(1) 避難情報の発令タイミング 【危機管理部、県土整備部】

※飛騨川の水位上昇（下呂市）、バックウォーター現象（白川町）

※深夜・夜間における避難情報の伝達

※大雨特別警報に準ずる気象現象に係る情報の伝達・活用

- (2) 避難情報発令後の住民の避難行動 【危機管理部】
 ※気象情報発表エリア見直しの検討状況
 ※コロナ禍における住民の避難行動への影響
 ※「災害・避難カード」作成地域における住民の避難行動
- (3) 高齢者、障がい者等災害時要配慮者への対応 【危機管理部、健康福祉部、県土整備部、県警察】
 ① 避難行動要支援者の避難に関する対応
 ② 要配慮者利用施設の避難確保計画の作成
 ※熊本県内の高齢者福祉施設の浸水
- (4) 多様な情報伝達手段の確保 【危機管理部、知事直轄】
 ① 行政による住民への避難情報の提供手段
 ② ローカルメディアによるきめ細かな情報提供
 ※L字放送、河川水位のリアルタイム映像の提供

テーマ3 災害応急・復旧対策

→能島教授、高木教授、小山准教授

- (1) 孤立集落への対応 【危機管理部、県土整備部、林政部、県警察】
 ① 通信手段の確保、水・食料・生活用品等の確保
 ※別荘利用者等の孤立情報の把握
 ② 孤立集落へ通じる道路の確保
 ③ 迂回路として機能する林道
- (2) 断水・停電時の対応 【危機管理部、健康福祉部、都市建築部】
 ① 応急給水対応及び応急復旧対応
新 ② 電力復旧対応
- (3) 公共交通不通の際の対応 【都市公園整備局、環境生活部、教育委員会】
 ① 鉄道の復旧事業に係る連絡調整
新 ② 通学困難者に対する学習機会の確保
- (4) 被災者支援対策～※局地的な災害、ピンポイント被災に対する支援 【危機管理部、環境生活部、都市建築部】
新 ① 被災者生活再建への支援
 ② 災害廃棄物の円滑・迅速な処理
- 新** (5) 文化財の被災への対応 【県民文化局】
 ※天然記念物（瑞浪市）の大スギの倒木
- (6) 風評被害など観光への影響 【観光国際局】

テーマ4 事前の防災対策

→神谷教授、沢田教授、原田准教授

(1) これまでの防災対策とその効果 【県土整備部、農政部】

- ① 事前防災（予防）対策の推進
- ② 浸水被害を防いだ治水事業
- ③ ダムの事前放流の実施
- ④ 土石流を防いだ砂防堰堤
※奥田洞谷（郡上市）
- ⑤ 道路の防災対策
- ⑥ 農地防災ダムによる水位低減効果
- ⑦ 湛水被害の軽減効果
- ⑧ ため池決壊・流出対策
- ⑨ 河川や砂防施設に流出した土砂・流木等の撤去

(2) 今回の災害を受けた対策【環境生活部、県土整備部、農政部、林政部】

- ① 今回の土砂災害の検証
- ② 今回の山地災害、流木災害の検証
- ③ 浸水被害が発生した河川等の検証

※バックウォーター現象、跳水現象

新④ 頻発する異常気象への対応

※適応復興への対応

3 調査、インタビュー等の実施

実態把握を行うため、次のとおり調査、インタビュー等を実施した。

(1) 避難・情報提供に関する市町村アンケート調査

<対象：今回の豪雨災害において避難情報を発令した22市町村>

岐阜市、山県市、揖斐川町、関市、美濃市、郡上市、美濃加茂市、可児市、
富加町、川辺町、七宗町、八百津町、白川町、東白川村、御嵩町、
瑞浪市、土岐市、中津川市、恵那市、高山市、飛騨市、下呂市

(2) 市町へのヒアリング

<対象：特徴的な事象が発生した7市町>

郡上市、八百津町、白川町、土岐市、恵那市、高山市、下呂市

3 検証スケジュール

		庁内照会、関係市町村調査等
8月	7日(金)	第1回 合同会議
		調査、インタビュー等
8月	20日(木)	第2回 合同会議
8月	21日(金)	岐阜県災害対策本部員会議
		報告書(案)に対する意見照会(市町村等)
8月	31日(月)	第3回 合同会議
9月	7日(月)	岐阜県災害対策本部員会議

【合同会議開催実績】

第1回

日 時：令和2年8月7日(金)
 場 所：岐阜県庁4階 災害情報集約センター
 議 題：検証項目(案)について
 今後の進め方(案)について

第2回

日 時：令和2年8月20日(木)
 場 所：岐阜県庁4階 外部機関等要員室
 議 題：令和2年7月豪雨災害検証の中間とりまとめについて

第3回

日 時：令和2年8月31日(月)
 場 所：岐阜県庁4階 外部機関等要員室
 議 題：令和2年7月豪雨災害検証結果について

※各合同会議は、新型コロナウイルス感染症対策のため、県庁と清流の国ぎふ
 防災・減災センター間はオンラインで実施